



勉強する意味って何?

皆さんこんにちは！
関目教室で小学生の
集団クラス、高殿教室
で個別指導を担当して
おります。辻本真大で
す。小さい頃からそろ
ばんとアップル(今の
バスカル教室)に通っ
ていたため、開智で育ったようなものですね。現
在は関西大学で法律を勉強しています。

私からは勉強をする意味についてお話しよう
と思います。「なんで勉強してないとあかん
の?」という疑問は、誰も一度は持ったことが
あるはず。私も中学生の頃は、「関数とか2
次方程式とか何に使うねん!」と思いながら問
題を解いていました。実際、社会に出ても使わな
い知識が多いせいで、勉強しても何の意味もな
いのではないかと、役に立たないのではないかと
言っている生徒はたくさんいます。

勉強する意味とは結局何なのでしょう。そ
の答えは「何か突出した能力がない人でも豊か

に生きるため」だと私は考えます。まず、スポーツ
選手や芸能人、最近で言うとYouTuberなど、
中卒・高卒でも高い人気を集め、キャリアを築い
て活躍している人はたくさんいます。しかし、そう
いった方々は突出した能力や一芸を持っていて、
ほんの一部の人間に限られます。

私はサッカーの試合を見るのが好きなので
サッカー選手を例にとると、J1リーグのクラブ
に加入できる確率は、サッカー経験者の約
3900人に一人だそうです。これを見てなお本
当に、「自分ならいけるぜ!」と自信を持って言える
方は、そのことに集中すれば良いと思いますが、
大半の方は、そこまで自信はないかもしれませ
ん。ですから勉強は、そのような状況でも社会に
適応するため、もしくは幅広く学ぶ中で自分の
適性を知るため、つまり豊かな生活を送りたい
皆さんにとって避けて通れない道です。

多くの人にとって勉強は基本的に面白くない
かもしれません。しかしその苦しい勉強を通して、
嫌なことに向き合い努力できることが大切な
のです。テストの点数や、通知表の成績がいい人と

辻本 真大(関目教室)

いうのは、ある程度嫌なことであっても、自分で
苦手と向き合って克服する力を持っているとい
う証明になります。

社会に出て就職する際、企業の人事部、つまり
採用する側の人からすると、苦手なことから逃
げている人間よりも、苦手なことであってもきち
んと努力して克服しようとする人材の方が採用
したいですね。日本には義務教育制度があり、
全国民が勉強に触れるため、その人の価値
判断をする大きな材料となるのが学歴で、一つ
の尺度となります。

つまり、勉強していい高校や大学に行くとい
うことは、勉強の内容自体はもちろん、「嫌なこと
でも粘り強く取り組める」という証明になり、結
果的に選択肢が広がり「豊かな生活」に繋が
ると思います。

私の話は以上です。私が考える勉強する意味
について少しでも分かっていたらでしょうか?是非この文を読んで今の勉強が将来に繋
がるのが伝われば嬉しいです。



シルバの ちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE Silvestre Benigno Medelin (Talking Kids)

Fantastic Summer Experience in TK

Do you feel the heat? As days go by in this
season, the temperature really gets higher
and higher. Indeed, it is summertime again.
Some of us like summer and some also de-
spise due to the scorching heat. There is a
saying that, "Summertime is always the best
of what might be." It means we can make
the most of anything that we are interested
in. Have you thought of a place where you
can enjoy your summer?



In Kaichi, we can
provide an amazing
summer experience
through our summer
lesson activities. In Talking Kids, we have the
free summer lesson and amazing science
experiments. The lessons are not just
ordinary lessons. Our team have carefully
thought of enjoyable
activities and learn
English as well.
Students can enjoy



and feel no pressure
in learning English.
Educational English
games are combined
in every lesson to
have an enjoyable and meaningful learning.
To be honest, learning a second language
is not a joke. It needs intrinsic and extrinsic
motivation. The extrinsic motivation comes
from the teachers and people around learn-
ers and the intrinsic motivation comes from
the students themselves. It is their inner will
to learn. This inner will is usually hindered
by the difficulties of the lesson. By provid-
ing exciting and meaningful lessons, these
difficulties will be replaced with their holistic
inner motivation due to the excitement they
get in the learning experiences.
To elaborate on the English games
combined with Eiken based lessons, we
have come up with effective English games
such as Telephone games, Pictionary, Pass



the bomb (not a real one), Charade, Toss
the ball etc. Doing these English games
while practicing the grammar point of the
lesson is surely effective to have an excit-
ing yet meaningful learning.
The science experiments to be shown
had been carefully chosen to ensure the
safety of our students. Doing science ex-
periments needs a thorough preparation.
Without any knowledge about the compo-
nents might lead to various accidents. Be-
forehand, our team demonstrated the ex-
periments to assure that they are safe to
perform in front of our students. Surely,
our students will be amazed to see the
science experiments we prepared. We will
be showing how magnificent dry ice is. It
is our main component in the experiment.



We will be show-
ing bubble trick,
frozen flower,
bubble snakeskin,
giant bubble, dry
ice humidifier, and
squeaking sound produced by dry ice.
So, what are you
waiting for? Come
and join us as we
have a fantastic
summer together
and learn English
as well.



カイチからの お知らせ

- 学習部は8月1日(月)~8月24日(水)が夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
- 8月10日(水)~8月16日(火)は休講日とさせていただきます。
- 模擬テストを小学部/8月22日(月)、中1・2/8月22日(月)~24日(水)、中3/8月27日(土)に実施します。夏期講習の成果を試すテストです。みんな頑張ろう。
- 幼稚園・小学生対象の大抽選会の発表を8月20日(土)午前10時~24日(水)13時でYou Tubeにて行います。アクセスコードは後日お知らせします。



【本 部】
城東区今福西2-1-8モテラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

ある卒業生の相談

先日、就職した卒業生から相談に乗って欲しいと連絡がありました。彼女は今、有名なホテルで働いていてちょうど3年、すっかり社会人という感じになっていて、相変わらず礼儀正しく、でも少し痩せたかなという感じてした。

彼女の相談内容は「自分はこの仕事をずっと続けるべきかどうかを悩んでいる。日々言われた仕事はきちんとやっているし、会社から与えられた目標に対しては努力はしている。でも、本当にこの仕事か自分の一生の仕事なのかと悩んでいる。」というものでした。

私はこの話を聞いて、とても健全で素晴らしいなと思いました。普通、社会に出ると下手に大人ぶって、「仕事とは所詮、生活のためでそんなもの」と割り切ったり、割り切ることをせずただ流されて生きたり。でも、少なくとも彼女は自分の中の違和感と向き合って「これでいいのかな、一体自分に何ができるのかな」と悩んでいる。会社の先輩から言わせれば、青臭いと言われるかもしれませんが、こういうことに対して真直ぐ悩めることはすばらしいことだし、実はこの悩みは至極まっとうな悩みだと思います。

カイチが学習指導を通してみんなに教えたことは「目標を持ち、計画を立て、やり抜けば大体のことは実現できる」ということです。私が塾の仕事を通して気づいたシンプルだけどパワフルな事実です。私は子供達が将来、仕事や趣味や家庭で自己実現する上で、役に立つこの「目標→計画→実行」の方法を学習を通して伝えようと考えました。

小学生は診断テストで1週間のプロジェクト、中学生になると定期テストになり3週間のプロジェクト、そして受験は1年のプロジェクト。学年が上がる毎にプロジェクトのスパンが長くなり大きなプロジェクトになり、それに伴い目標や計画の立て方、実行する意志の力も鍛えられていきます。特に、学習を進める上での「やり抜く力」は、将来社会に出て強く逞しく生きる力に直結します。

相談に来てくれたこの卒業生も、常に目標を持ち、それを達成するための計画を立て、強い気持ちでやり抜き、素晴らしい成績を収めました。高校に入り勉強が大変になって、中学の時のスタンスを思い出し、新たな目標を設定し、大学受験も無事突破しました。その後、お金をコツコツ溜めて夢だった1年の留学にも行き、一流企業への就職も実現しました。

彼女は、目標に対して計画を立てる論理力があり、自分を律して努力をやり抜く精神力もある。でも、気づいたのです。何を目標にするのか。今までのように他の誰か、世間体を意識した目標ではなく、自分自身が願う目標、つまり夢は何なのか?

彼女はついに、「自分の本当の目標がわからない!」ということに気づいてしまいました。

これは、元来、誰もが持つ悩みだと思います。

大切なことは、「悩み続ける」こと。悩むことを嫌がらずに、頭の隅で常にこの悩みを持ち続けることが大切だと思います。

「自分は何が向いているのかな」という観点を常に持って、生活や様々な経験をする中で必ずピンとくることがあります。そのためには「自分

は何が得意なのか」とか「何に興味があるのか」というアンテナを少し気にして立てておく必要があります。

実は、学校の教科学習もこのような意図で作られています。

教科学習は元を辿ると、社会の様々な事象をジャンルごとに体系的に分けたものです。実は教科学習を通して、社会の様々なことを一通り学べるようになっていきます。確かに、つまらなくて退屈なものが多いのはわかります。でも、その中に、キラッと好きや興味が湧くものはあるはず。例えば、理科は面白くない。でも天体は面白い。天体は嫌い、でも惑星の色合いは何ともきれいで心惹かれる。など、そういうものがあるならば、少し覚えていて欲しいのです。そういう些細なことが、将来の進路や職業を決めるきっかけになります。

趣味や遊びがヒントになることもあります。私が塾をやりたいきっかけになった出来事は、友達に勉強を教えることが好きだったことと、小学校の時に水生昆虫を飼っていたことです。

「水生昆虫?」と思われるかもしれませんが、水槽の中で、肉食のミズカマキリを飼うと魚の死骸で水が汚れる。だから、それらを食べるガムシという昆虫を飼う。でも餌にしているメダカも繁殖して欲しいし、そのためには水中の酸素が必要。だから、水草を水中に植える。そうして水槽の中で、小さな世界が循環する。

カイチが幼児から大学受験を指導していたり、卒業生が先生として戻ってくる仕組みを創ったり、いまでは社員として働いてくれる卒業生がいてくれたり。習っていた職場で今度は教えるという循環や、みんなが楽しく働ける環境をどうやったら作れるか。みたいなことの興味は子供の時の水生昆虫のそれと変わりません。

今は偏差値や受験の合格が勉強の意味になっているかもしれませんが、頭の片隅で、今やっている勉強が、広大な世界の中で、自分の琴線に触れるものを発見するために存在していることも知っていて欲しいなと思います。

今回は、少し勉強する意味のような大きなテーマでのお話でしたが、皆さんの夏期講習は続きます。受験生はやり切課題や学校の宿題もいよいよ佳境に入ってきますが、今のみんなの努力は何も無駄にはなりません。後であの時もう少しやっていたらという悔いだけは残さないように、今は精一杯頑張ってください。先生達も全力でサポートします。





シルバのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE Silvestre Benigno Medelin (Talking Kids)

TKで楽しい夏を体験しよう

暑い日が続いていますね。この時期は日が続つにつれて気温がどんどん上がります。本格的な夏の到来を感じますね。夏が好きな人もいれば、この暑さが苦手な人もいます。英語で「夏はいつでも最高だ」ということわざがあります。これは、夏は、何でもやりたいことに挑戦できる季節という意味です。皆さんはどこで夏を満喫しますか？



カイチのトーキングキッズでは、サマーレッスンを通じて、皆さんに楽しい夏の体験をしていただくことができます。トーキングキッズでは夏の無料レッスンや驚きの科学実験などをご用意しています。トーキングキッズのレッスンは通常の英会話のレッスンとは異なります。私たちトーキングキッズの授業は、楽しいアクティビティをしたり、それが英語の勉強にも役立つように慎重に考えて作られています。ですので、楽しみながら無理なく英語を身につけていただくことができます。楽しくかつ英語の力がつく学習ができるように教育用の英語ゲームも毎回の

レッスンで取り入れています。率直に言うと、第二外国語の習得は容易ではありません。そのためには、内発的動機付けと外発的動機付けの二種類のモチベーションが必要です。外発的動機付けは先生や周囲の人から、内発的動機付けは生徒自身からもたらされます。内発的動機付けは皆さんの内なる学習意欲です。この内なる意欲は、通常レッスンの難しさなどでや

すれば、必ず英語の力が身につくはずですが、

今回のサマーレッスンで行う科学実験は、皆さんの安全を考慮して慎重に考えました。科学実験を行うには念入りな準備が必要です。扱う物の知識がないと、さまざまな事故につながる可能性があるからです。事前に実験のデモンストレーションを行い、皆さんの前で披露しても安全であることを確認しました。この科学実験を見たら皆さんとても驚きますよ。



る気をなくしたりします。このような問題は、刺激的で楽しく英語を学んでいただける私たちのレッスンを受けていただくことで解消されることでしょう。

授業は、英検取得に向けたレッスンと英語でのゲームを組み合わせています。ゲームの内容を詳しく説明しますと、電話ゲーム、お絵かき、爆弾渡し(本物ではありません)、ジェスチャーゲーム、ボール投げなど、英語の力がつくゲームをたくさんご用意しています。このように英語でゲームをしながら、文法事項の練習も併せて

ドライアイスの壮大な魅力をお見せしましょう。ドライアイスが実験のメインです。バブルトリック、フローズンフラワー、バブルスネークスキン、ジャイアントバブル、ドライアイス加湿器、そしてドライアイスのキュッキュという音などを、見て感じていただく予定です。是非楽しみにしててください。私たちと一緒に英語を学んで楽しい夏を過ごしましょう。



Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

今福・古市教室生
頑張っています!

川西 久志 (今福・古市教室)

こんにちは、今回は私が今福教室・古市教室の様子をお伝えさせていただきます。各分野の子供達が素晴らしい成果を出しているのをお読みいただければと思います。

バスカルキッズ

3月から新年度を迎え、まだまだ小さな子供達が少しずつ思考力がついていくのを見ているのが楽しいバスカルキッズです。新年度入会生の中には年中さんで入会し、最初は10ができなかった生徒がすでに2桁の繰り上がり、繰り下がりをごこなせるようになったり、1年生で4桁の足し引きを筆算なしでできるようになっている生徒など、目覚ましい成長を遂げている小さな巨人が出てきています。教具を使用し、目や耳を刺激しながら習得させることによって、難しい問題も難くこなせるようになる子供達を見て、「自分が小さい時にもう少しやってあげば…」と後悔してしまいます。

トーキングキッズ

英語検定全員合格

6月5日に各教室で英語検定が行われました。結果はおかげさまで受験者は全員合格です。5級(中1レベル)が3名、4級(中2レベル)が1名です。外国人の先生がリスニングを行い、日本人の先生が過去問をしっかりと指導することによって、順当に掴めた結果だと思っています。5級の合格者の中にはまだ小学校3年生の生徒もいます。トーキングキッズの授業はいつも楽しそうにゲームなどを織り交ぜながら進めています。楽しみながらもしっかり結果を出してくれる強い子供達に育ってくれています。



珠算部

今福教室 検定合格者多数輩出!!

去る6月26日1・2・3級の検定が行われました。塾長先生が主導となり時間計り終了後、丸付けとやり直し。やり直しの段階でしっかりと合わせるまでを徹底したこと、お家での稽古を毎日やるように根強く呼びかけた甲斐もあり、今回の検定合格率は65%にまで上がりました(検定の平均合格率は全体で40%程度)。今福生と先生方が一緒になって合格に向けて努力を重ねた結果だと思っています。珠算生の皆さんは引き続き頑張ってください。



古市教室

競技大会タイ記録6連覇達成を目指す!!

古市教室は今年度、悲願の競技大会6連覇に向けて日々精進しています。生徒達もちろんですが、自分自身問題の研究と生徒の答案分析を怠らず、答案の作り方・そろばんの指の動き・計算の特長などをつぶさに見て1人1人アドバイスをするように心掛けています。

先生と生徒の二人三脚の努力が実を結び、今年の古市教室は1級をクリアして段位に励んでいる5人のエースが生まれています。それぞれ準初段や2段を目指し日々練習に励んでいます。エースたちを軸に皆で優勝する準備はできていると思っています。今年の連覇で今福教室の6連覇と記録が並び、来年度は前人未踏の7連覇に向かって挑戦していきます!



小学学習部

診断テスト躍進中

小学部が3月から始まり、月に一度の診断テストが3回行われています(7月中旬時点)。その結果は4年生は2回・5年生は3回・6年生は2回それぞれ1位を奪取しています。まだ小学生ではありますが、ランクインを狙ってテスト前は勉強に励んでくれています。岸田先生が主になって直前の土曜日に希望者のみですが勉強をしに来ています。その甲斐もあり、現時点では診断テストのランクは今福生が多数を占めている状況です。ランクインの数を増やすために月並みですが授業は工夫をして臨むようにしています。

中学学習部

1学期期末テスト 中学部自己ベスト多数!

中学部の生徒達にとって6月はクラブ活動の時間が長くなり、体力的にも大変な時期ではありますが、毎回休まずに遅刻しながらカイチに来て、疲れている状況でも補習を先生に申し込んで内容を学習して帰る。地道ですが着実に学習を進めていった結果、新入生と既存生を合わせて定期テストで自己ベストを達成した生徒達が30名に昇りました。地道な努力は必ず報われることを信じてこれからも頑張ってください。これからはさらに暑くなるので体調が気になるときは保護者の方にまずは相談しましょう。

今福・古市教室生の皆さんは地道に根強く努力できる生徒が多く、指導する側から見てもやりがいのある生徒達がたくさんいます。彼らの可能性を最大限引き出せるように自分達も日々工夫を凝らし、生徒が自分の成長を実感できるようにしてあげたいと思っています。



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

夏休みも後半戦。
規則正しい生活でリスク回避を!
受験生は「自分の勉強」に切り替えよう!

坪田 陽一 (諸口教室)

すでに夏休みも中盤を過ぎました。ここまでのお子様の様子はいかがでしょう。学校の宿題は終わっていますか?大人達にとって、この1カ月弱の夏休み期間はあっという間ですが、子供達にとっては無限にも思える時間です。心理学的にも「ジャンナーの法則」というものがあり、曰く「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例する」だそうです。40歳にとっての1カ月は10歳にとっては4カ月!ということになりますでしょうか。法則の真偽はともかく、この大人と子供の時間感覚の差はなかなか埋めがたいもの。宿題もせずダラダラしている我が子について(暑さも手伝って)イライラしてしまうこともあるでしょうが、そんな時は「ジャンナーの法則じゃねー?」と思っていたら、少しは気も紛れるかと…(すみません)。

閑話休題。ここから本題の「夏休みの過ごし方」です。

まず全てのお子様にとって大事なものは、「規則正しい生活をする」これです。当たり前と思われるかもしれませんが、これは単なるお題目ではなく、現代の子供達にとっては切実で重要なミッションです。

具体的には「朝晩決まった時間に起き、決まった時間に寝る」「夜更かししない」「十分な睡眠時間を確保する」「三食決まった時間に食べる」「決めた時間に学習する」などですね。

当然、食事と睡眠は基本です。食事は体を作る材料や動かすエネルギーであり、脳も相当カロリーを消費します。また睡眠によって身体の疲れをとるとともに、その日学習したことが脳で整理され、長期保存されます。両方とも十分でなければ学習効果は上がりません。

更に、睡眠時間が不規則だったりすると、次のような問題が出てきます。

今や不登校の子は珍しくありませんが、**長期休み明け前後には不登校になりやすい**と言われています。原因は様々で個人差もあるのですが、きっかけの一つに「休み中の不規則な生活」が挙げられています。ずっと夜更かしして昼夜逆転した生活を送って、いきなりそれを朝型に戻そうとすると朝がつかなくなる。その結果、学校へ行けなくなってしまう、というわけです。

今は手元のスマホを通じて、いつでもどこでも動画を見たりゲームをしたり、SNSで見知らぬ他人とつながったりすることができます。衝動を制御する脳の中のブレーキが未発達な子供は、

際限なくそこで刺激を受け取り続け、なかなかやめることができない。結果として寝る時間がどんどんずれていく。スマホの画面のブルーライトはメラトニン分泌を抑制し、睡眠を阻害することもよく知られています。つまり子供達は、以前よりはるかに誘惑が多く、生活リズムが不規則になりやすい環境の中で生活しているのです。

スマホばかり触って不規則な生活を続けていると、鬱状態になりやすくなります。夏休み前に学校で何らかの問題や不安を抱えている子は、それが引き金になって、最悪自ら命を絶つ、ということにもなりかねません。「**夏休み明け前後が中高生の自殺の最も多い時期**」ということもお聞きになったことがあるかと思います。

少々極端な話をしてみました。しかし、夏休みだからと言って甘い顔をすることなく、「いつも通り」生活をさせることが、**子供の心身共の健康を守る上でとても重要だ**ということをお伝えしておきます。ついでにスマホについても、お子様と使い方について話し合い、場合によっては制限をかけたり、きちんとルールを決めたりしていただければと思います。

次に、受験生の皆さんの過ごし方について。先月の塾長と井上先生の記事でも、この夏の重要性や、夏期講習での学習の取り組み方は書かれています。繰り返しになりますが、「**目標(志望校)を見失わずに勉強する**」「**自分の勉強(苦手単元の克服など)に時間を割く**」ことがポイントです。夏期講習も前半が終わりです。そろそろ「課題をこなす」だけの勉強は終わらせ、自分の弱点を克服し、偏差値を上げる為の具体的な勉強に切り替えていきましょう。**診断テストや模試を自分なりに分析し、弱点を発見していく**ことも重要です。発見したら作問依頼したり質問したりでどんどんつぶしていく。ここはスピード感をもって、後回しにせずに取り組むのがコツです。

その上で、矛盾しているようですが「**頑張りすぎないこと**」も重要です。特に部活の引退がまだ



▲朝から元気な小学生。ちゃんとご飯は食べてきた?



▲授業後も黙々と課題をこなす中3生。終わらせたいよいよ「自分の勉強」です。



▲コピー中もつかまって質問を受けています。気配が違う!

の生徒や、目標からほど遠い子ほど、つい周囲と比較してしまい、焦りから無理をしがちです。勉強量ゼロは困りますが、かと言って、すでに引退して勉強に専念できる子と同じ量をこなすのは無理な話。**睡眠時間を削るのはダメ**です。前述した通り「規則正しい生活をする」中で、少しずつ勉強時間を増やしていきましょう。

また**適度な休憩**も大事です。息抜きは、スマホで動画やゲームではなく、軽い運動がベスト。あるいはテレビでも、スマホで自分好みの動画ばかり見るよりはよほど視野が広がるかと思えます。特に時事問題などを分かりやすく解説してくれる番組(池上彰さんが登場するような)等であれば、勉強時間に支障が出ない範囲でぜひ見て欲しいところです。

一番大事なのは、**焦りや不安は一人で抱えこまないこと**。親や先生、友人などに話を聞いてもらいましょう。話をするだけで頭が整理され、案外すっきりするものです。また、親御さんからも声を掛けて、話すきっかけを作ってあげて欲しいと思います。

最後にもう一つ。これも先月、エニグマの富田先生の記事に「**限界値を引き上げる**」という話がありました。「**レベルの高い人の学習法を体感する**」ことで、限界値を引き上げ、より上位の学校に自信を持って挑めるようになるとのこと。さて、**皆さんの周りにも「レベルの高い人」はいませんか?**いつも診断テストで上位の人、いつも塾に来て勉強している人、いつも先生に質問している人…。そんな人がたくさんいるのがカイチの教室です。そういう人を見かけたら、ぜひ真似をしてみてください。自分で勝手に作っていた限界を簡単に突破できるかもしれません。

後半は先月の記事をフォローしたようなものになってしまいました。いろいろ書きましたが、残りの夏休み期間を充実したものにす為、少しでも参考になれば幸いです。